

# 光の子

発行／社会福祉法人 光の子どもの家  
 編集／光の子 編集委員会  
 〒349-11 北埼玉郡大利根町砂原277  
 TEL／0480-72-3883  
 振替／東京3-128022  
 印刷／社会福祉法人 共愛会

来てネ サンタさん！



絵・中島 英子

有史以来四・五千年と言われる人間界に、生命の誕生が三十数億年も前のことと聞かされても、その当時のことは皆目想像だに出来ない。

悠久の世界に人の一生など点に等しいが、この点を少しでも延ばしたいのが人間の本能である。日本人で最長の年齢など寡聞にして知らないが、野見野宿祢など相当の長生きだつたらしい。中国でも堯の時代に彭祖（ほうそ）という者、その生きること七百年とも八百年とも言わわれた。人々はこれにあやかることを願つたが、莊子はそれをあわれと言う外なしと言いつている。

聖書では創世記にメトシェラ九六九才、イエレドは九六二才とある。数字はいささか疑わしいが、祝福された長寿の表現であろうか。六章のノアの洪水のところには「わたし（神）の靈は人の中に永久にとどまるべきでない。人は肉にすぎないので

幾才ですかと尋ねる。確か年齢はいろいろのことの評価の基準になる「五〇才にもならないのにアブラハムを見たというのか」とユダヤ人はイエスに詰めよう。

（ヨハネ八）  
 若いくせにとか、いい年をしてとか、五〇、六〇は済垂れ小僧とか、年齢が引き合いにされるが、昔の人に比べ現代人は数等若さにまさる時代となつた。命長ければ辱多し。人はもちろん不完全な者、さまざま失敗も当然ながら適当に身繕いして生きようとしている。

「長き世を化けおおせたる古狸、尾先な見せそ山の端の月」と詠んだ江戸後期の画家谷分晁（七七才死）の歌心はまたわが心境でもある。

旧約聖書のコヘレトの言葉の著者はおそらく相当の年の人であつたろう。可成りニヒルな物

から。こうして人の一生は一二〇年となつた」とある。  
 理事長 福島 勲  
 メシアに会うまで  
 （ルカによる福音書第二章二十二～三十六節）

の見方をしているようだ。  
死ぬ日は生まれる日によまる  
とか、千年の長寿を二度繰り返  
したとしても、幸福でなかつた  
ら何になろうと言う。

すべてが空しいという中で幸  
福を求める。この幸福とは何だ  
ろうか。飲食の楽しみを三回も  
ではなかろうと思う。食べられ  
ない悲惨は暖衣飽食の時代の者  
には想像外のことである。

最後に老いの身のボロボロの  
悲惨な姿を描いて、若き日に創  
造主を覚えよと訴える。コヘレ  
トの中心的な叫びである。

長寿高齢の時代老人福祉施設  
だけ完備しても、魂の問題がな  
おざりにされれば、すべてむな  
しいことである。

幼いキリストを抱き上げて、  
老いたるシメオンは「主よ今こ  
そあなたはみ言葉の通りにこの  
僕を安らかに去らせて下さいま  
す」（ルカ二・二八）と、人生  
究極の言葉を発して、感ぜわまつ  
ている。

われわれも、もうこれで死ん  
でもよい、と言える人生最大の  
喜びと祝福をここに求めたい。

前略、失礼します。  
今、九州に来ています。ある  
音楽関係の行事への参加が主目  
的です。

出発前に実は、少し寒いので  
はないかと、コートを持つべき  
か否か迷いました。それに雨の  
心配もしたのです。しかし、こ  
ちらに着いてみると、そのどちら  
も全く心配なく快晴の暖かい  
天候に恵まれました。

そうそう、それよりも日本シリ  
ーズでの巨人群の優勝、おめで  
とうございます。あなたは、  
余り態度や言葉に出しませんで  
したが、熱烈な巨人ファンであ  
ることを私は知っています。巨  
人が試合に勝てばルンルンで、  
もし負けそうにでもなつたら、  
テレビのスイッチを切つてしま  
うらしい事も知っています。

でも私は、いつかあなたが言つ  
た言葉を忘れることが出来ませ  
ん。「今年こそは巨人に、どう  
しても優勝してもらいたいけど、

今はもう、どうでも良いんです。  
巨人は優勝できなくても良いか  
ら、自分には大事なその事と引  
き替えて、うちの子供達が普通  
にやつていけるようなペースを  
与えて下さいって、神様にお願  
いしちゃつたんです。」

でも優勝してしまいましたね。  
幸先が良いというべきでしょう。  
もう一つのもっと大事な願いも  
必ず叶うのではないかでしょうか。  
幸先が良いといふべきでしよう。

人程が舞台に上がりました。十  
四才と五才の子どもだけ三十  
人程が舞台に上がりました。十  
人程は大きなアコーディオンを  
胸のところにしっかりと抱いて  
の登場です。司会の人が言いま  
した。「まるで蟻さんが砂糖の  
かたまりを運んでいるようで  
可愛いですね。」その通りでし  
た。きれいなお揃いの服を着て、  
とても見事な演奏でした。

その次は合唱です。小学校の  
一年生から六年生ぐらいまで、  
少年少女合唱団だったと思いま  
す。実に元気に、明るく歌つて  
おりました。そこでもしあなた  
がこの会場にいたら、きっと最  
前列の右から三人目で歌つた小  
さな男の子に注目した筈です。  
周りの子より少し小さくて、時々  
口の動きが違つていました。そ  
れでも皆によく付いていて、  
必死に歌つているのです。けれ  
どもどうしても遅れ落ち。周り  
の子たちは笑顔さえ浮かべて歌つ  
ているのに、この子にはそんな  
余裕はありません。練習の時に  
は良くできたのかも知れません。  
唯本番の舞台に立つてみると、  
沢山のお客様に圧倒されて、あ  
なでしよう。

## 旅先から エッセイ

県立高校美術教諭

中島 瞳雄

今日の音楽会。とても印象的で  
した。

四才と五才の子どもだけ三十  
人程が舞台に上がりました。十  
人程は大きなアコーディオンを  
胸のところにしっかりと抱いて  
の登場です。司会の人が言いま  
した。「まるで蟻さんが砂糖の  
かたまりを運んでいるようで  
可愛いですね。」その通りでし  
た。きれいなお揃いの服を着て、  
とても見事な演奏でした。

その次は合唱です。小学校の  
一年生から六年生ぐらいまで、  
少年少女合唱団だったと思いま  
す。実に元気に、明るく歌つて  
おりました。そこでもしあなた  
がこの会場にいたら、きっと最  
前列の右から三人目で歌つた小  
さな男の子に注目した筈です。  
周りの子より少し小さくて、時々  
口の動きが違つていました。そ  
れでも皆によく付いていて、  
必死に歌つているのです。けれ  
どもどうしても遅れ落ち。周り  
の子たちは笑顔さえ浮かべて歌つ  
ているのに、この子にはそんな  
余裕はありません。練習の時に  
は良くできたのかも知れません。  
唯本番の舞台に立つてみると、  
沢山のお客様に圧倒されて、あ  
なでしよう。

がつてしまつたのかも知れませ  
ん。その子の必死に歌う一途さ  
といとおしさに、きっとあなた  
は目を背ける事が出来なかつた  
と思います。自分が育てた子で  
なくとも、この子の歌の終わる  
まで気が気でなく、心の中でも  
そしてきっと、またあなたの事  
だから目にハンカチを当ててい  
たでしょう。

巨人、西武戦で、大好きな巨  
人を勝利に導く満塁ホームラン  
を打った緒方に対しても歌え  
なかつたのですね。「打った緒  
方は良いけど、打たれた杉山が  
可哀そう。杉山の両親は、どん  
なにかつらいでしょ。」「で  
も、これが勝負でありドラマな  
んでしよう。」

そこで思い出したんですが、

## 苦難と福祉

開設十回目のクリスマスを迎  
えます。この間の主なる神の尊  
きと皆様のお支えを感謝しつつ  
救い主イエス・キリストのご降  
誕をお祝い申し上げます。

人生には苦難がつきまとう。

眞面目に生きている人や不十分

な条件の中で慎ましい努力を重

ねている人にも容赦なく襲つて

くる。なぜ今私が、この私の家  
族がと言葉を失うこともしばし  
ばである。不条理の荒波に压し  
潰されそうにもなる。病気、事  
故、天災や人災、失業、不和、  
内乱や戦争など私たちの知恵や  
力を超えることが山積している。

私たち、自分の境遇や力量

に応じて、自分なりの生活設計

や人生の夢を描くものである。

このとき、苦難の現実はこれら  
の人間的な想いを混乱させ、時  
には粉砕されてしまない。し  
かし、大人となりこれらの現実  
を自分の現実として自己受容で  
きるならば、あれも人生これも

すると、自分の施設入所の直  
接的理由は親にあり、親を責め  
ることになる。ただし、責めら  
れた親自身もまた、きわめて不  
遇な子供時代を過ごしている場  
合がほとんどであり、好きで我  
が子を施設に手放しているので  
はないという事実がある。

社会福祉の仕事は、このよう  
な苦難に立ち向かい、当事者や  
その家族の支援をする。すると  
その原点は、その苦難の渦中で  
苦しみうめく心に共感できるか  
どうかが問われることになる。

どんな理由でその苦難が生起し  
たかを解説されるよりも、現に  
その苦難に呻吟している心を共  
有することが第一義となる。

先日、ある会議で対人援助活  
動の要点について次の言葉を知  
能であろう。

養護施設の子どもたちは多く  
の場合、幼少期に家庭の破れに  
よる苦難を背負って入所してく  
能であろう。

人生として受けとめつつ、新た  
な人生行路を切り拓くことも可  
能であろう。

傾け人の心を見て人の心を  
育てる。」傾聴し共感するところ  
から心の育ちが生まれる。

また、ピエール神父の「他人  
の重み」の信条にも注目したい。

「人間は他人の重荷によってつ  
ぶされるのでなく、その他人が  
自分に関わっている重みによつ  
て、かえつて自分が生かされて  
いくのである。」

ここからは、苦難の中にこそ  
育ちがあるとの声が聞こえてく  
る。眞の社会福祉が、苦難や重  
荷を共に担い合い、分かれ合う  
共感共苦の連帯性の中で培われ  
るとの信念がここにはある。私

は今、苦難の人の友になること  
で、かえつて自分が生かされて  
いくのである。

ここからは、苦難の中にこそ  
育ちがあるとの声が聞こえてく  
る。眞の社会福祉が、苦難や重  
荷を共に担い合い、分かれ合う  
共感共苦の連帯性の中で培われ  
るとの信念がここにはある。私

は今、苦難の人の友になること  
で、かえつて自分が生かされて  
いくのである。



今年は、教会学校から育つた光の子どもの家の福島文明君と八木橋家の長男八木橋俊明君の二人の高校生が受洗の決意をした。他にもう一人青年が同じ決意を与えられており準備に入っている。

こんな恵みの中に迎えられるクリスマスと思うと、唯、ただ、感謝の思いでいっぱいになる。教会学校の教師たちは、自分の力のなさを日々思い知らされているが、それを遥かに超えた力が、一人一人の子どもを導いて下さっていることを、今年もまた深く思はされた。

「静かな中にも喜びにあふれたクリスマスにしましょう。」

透明感溢れた、のびやかな優しいピアノとフルートの音色に、耳を傾け心も身体も解放され、至福の時を得た。

大江健三郎が『わが光の音樂』の中で、「恩寵という事を音樂に見いだすといわざにはいられない」と語つておられるが、まさに、私たち人間の小さな思いを遥かに超えて、人間の魂に語りかけて下さる大きな力の存在を思う。

こうした幸せな気持ちにすっぽり包まれていると、もう二十五年も前に迎えたドイツでの初めてのクリスマスを思い出す。

物理学者である夫がキール大学で研究することになり、三才

トムソーヤたちの朝

日本キリスト教団東大宮教会  
永野三恵

季節に変わり始める、窓辺のシクラメンやポインセチアの赤が一層映え、アドヴェントを迎える。これからの一ヶ月は、来るべき時への期待とともに一年のうちで特別な思いのする時期である。

教師たちはも期待と喜びをともに分かち合う暖かさが、ひたすら押し寄せてくる。慌ただしく、駆け足で過ごしているような毎日を送っているが、珍しくぱっかり空いた時間が出来た。一杯のコーヒーを手に、大江光のCDを聞いた。

1994年12月25日 第 56 号 この一事に努める

と疲れが出て、靴を脱ぎベットに大の字になつて寝ころんだ。と、左足の甲の部分の靴下に血がにじんでいる。肩のあたりも痛いことに気づきシャツを脱ぐと、肘と肩のところにこれ又大きなカットバンが貼られている。気が動転して何が起こったのか解らない。旅行ケーブルを開けてみた。私にしては荷物はきつとまとまって入っている。と、私は五分の一程しか残っていないウイスキーの瓶を旅行ケーブルの中に発見した。昨夜床に就いたときは五分の四ほど残っていたのだから、あと五分の三を飲んでしまったことになる。確かに頭痛がして宿酔である。しかし

し、どこでどうやつて飲んだのか全く記憶がない。

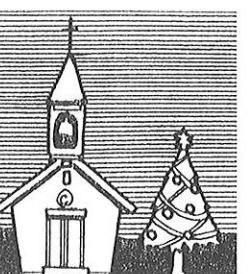
覚えている最後のことは、前の晩十時にセントルイスの友人宅で就寝時に外国旅行の時は常用している睡眠薬ハルシオンを服用した事実である。思いを巡らせて数分もたたないうちに私は事情を理解していた。思えば、人の忠告は聞き入れなければいけなかつたのだ。去る日、旅行の時はハルシオンを愛用していることを話すと、隣の教室の教授が、その薬剤は記憶喪失を来すことがあるから止めた方がいいと忠告し、自分の知らない間に脳外科の手術をしてしまった医師の症例などを書いた文書まで届けてくれた。自然科学者としてあるまじき話ではあるが、『そんな例は一万人に一人ぐらいいのものだらう』とたかをくくつて、彼の忠告を無視して服用していたのだ。何しろ服用後五分もすると、眠りに陥ってしまう

ものであった。十時間の空白部分はかなり長いこと私の中に沈殿し続け、何とも嫌な気分であった。

最近ようやくその悪夢から覚めたのだが、思うに、記憶はしつかりしていても、いや記憶はしつかりしているのに恐ろしい話が沢山あるようだ。先日夕刻ある新聞社の対面世論調査のアルバイト学生が拙宅を訪れた。矢継ぎ早に飛び出してくる質問の多くに、私は即答できなかつた。いわく「あなたの支持政党は何か?」いわく「あなたは今之政府を支持しているか?」等々、しばらく間をおいた後、私は「解らない」と応えざるを得なかつた。

い起こしてみた。そして思考停止状態が始まってから、何とも長い年月が流れてしまったことに気づかされた。

勝った、負けたと限りなく続けてきた自然科学研究の競争ゲームは、私に一定の「業績」なるものを残したが、もつと大切なものを私から奪っていくたやうに思えてならない。私個人の問題だけでもないわゆる社会主義体制が崩壊したことに伴う冷戦構造の終結が引き金となつて、世界はいまエボケー（判断停止）に陥っているという。これが本当に恐ろしい話であるのかも知れないと思つたりする。



程効果はてきめんなのだ。それにしても、記憶のないまま酒を飲み（もつともこれは小生にとつてはそれほど希なことではないが）飛行機に乗り、地下鉄に乗り・・少なくとも十時間以上記憶のないまま、行動していたことは、何とも恐ろしい話ではあった。あとで友人宅に電話して判明したのだが、手足の傷はシャワーを浴びた際に浴室のガラスを壊したことによるものであった。十時間の空白部分はかなり長いこと私の中に沈殿し続け、何とも嫌な気分であった。

最近ようやくその悪夢から覚めたのだが、思うに、記憶はしつかりしていても、いや記憶はしつかりしているのに恐ろしい話が沢山あるようだ。先日夕刻ある新聞社の対面世論調査のアルバイト学生が拙宅を訪れた。矢継ぎ早に飛び出してくる質問の多くに、私は即答できなかつた。いわく「あなたの支持政党は何か?」いわく「あなたは今の政府を支持しているか?」等々、しばらく間をおいた後、私は「解らない」と応えざるを得ない勝つた、負けたと限りなく統一された自然科学研究の競争ゲームは、私に一定の「業績」なるものを残したが、もつと大切なものを私から奪つていつたように思えてならない。個人の問題だけではなくいわゆる社会主義体制が崩壊したことに伴う冷戦構造の終結が引き金となつて、世界はいまエポケー（判断停止）に陥っているという。これが本当に恐ろしい話であるのかも知れないと思つたりする。

十二月も間近、仲良しになつた腕白坊主のトーマスとペーターが遊びに来て、「フラウ・ナガノ。ミヤコとミチコにアドヴェントカレンダーを買った?」と尋ねた。私には、始め何のことかさっぱり解らず、結局お店へ連れて行つて教えてもらつた。

アドヴェントからクリスマスまでの毎朝、口付けの書かれたカレンダーの窓を開けると子ども好きなボンボンやチョコレートが出てくるようになつてゐる。私が子どもだった頃は、「もういくつ寝るとお正月・・」と指折り数えて待つていたが、ドイツの子どもたちにとっては、やはりクリスマスが何より心待ちのものとなつた。

それから、わが家にとつては、アドヴェントカレンダーは特別なぞくを灯しその光のもとで聖

と十ヵ月の娘たちと共に、ドイツに渡つた。そこで過ごした三年余りの生活は、いろいろな驚きと喜びの連続だつた。

あの頃の記憶が鮮明によみがえつてくる。

書を読み讃美歌を歌つて、静かに主のご降誕の準備をするのだ。北ドイツの空は灰色に重く垂れ込め、外は身を切るような冷たさである。でも、毎週開かれる広場にたつ市場に樅の木が並ぶと、家族で品定めし、大きな樅の木を買つていく。子どもを先頭に父親が太い方を担ぎ、家庭へ帰つていく様子は、絵を見ているようだつた。

飾りつけも、真っ赤な林檎のオーナメントをつるすとか、ろうそくを挟むパンチを木につけ、夜いつせいに灯すとか、シンプルな中に、感性が光つてゐた。

その周りで、まだ幼かつた娘たちが、声を張り上げ、覚えたてのドイツ語で「オー・タンネンバウム・・」と、嬉しそうに歌つてゐた、あの頃が懐かしく思い出される。

大江光の最後の曲のフルートの余韻と共に、今年も三十人のトムソーやたちが、心をわくわくして待ち望む豊かなクリスマスを迎えられますようにと、願わざにはいられない。



クリスマス

# クリスマスたのしいな

クリスマス　あめでとう

クリスマスに思う

中学一年 濑

中学一年 濑

クリスマスは、イエス様がお生まれになつたことを思い、記念してお祝いすることです。

ベツレヘムの馬小屋の飼い葉桶に生まれたイエス様は、目の見えない人をいやしたり、死人を復活させたりしました。

神さまだから出来ないことはなかつたのです。何の罪もないのに、十字架にかけられて、殺されました。それは私たちの罪を、自分が死んで神さまに許してもらつたのです。

神さまは、イエス様の名前でお祈りしたり、お願ひしたりすればそれをかなえて下さるといいました。

神さま、どうかお母さんの病気を早く治して下さい。そして、一緒に暮らせるようにして下さい。

今年もいいクリスマスにして下さい。

去年のクリスマスペーページェントではヨセフを演りました。初めは小さかつたのでページェントの意味を知りませんでした。ヨセフ、マリアが泊まる宿もなくて、馬小屋でイエス様を生んだという聖書の場面を演ります。それと僕がどんな関係にあるのかはまだ解りません。でも、何だか大事そうなことは何となく解るような気がします。

冬が深まるごとに、心にしまつてあるクリスマスが体中で動き出します。

小さい頃からサンタクロースがプレゼントを持ってきてくれるのをわくわくしながら待っています。去年は、チヨコレートや洋服など、僕にぴったりの物がきれいな紙に包まれていました。

去年のクリスマスペーページェントではヨセフを演りました。

初めは小さかつたのでページェントの意味を知りませんでした。ヨセフ、マリアが泊まる宿もなくて、馬小屋でイエス様を生んだという聖書の場面を演ります。それと僕がどんな関係にあるのかはまだ解りません。でも、何だか大事そうなことは何となく解るような気がします。

中学一年 鷹文

中学一年 濑

中学一年 濑

クリスマスは、イエス様がお生まれになつたことを思い、記念してお祝いすることです。

ベツレヘムの馬小屋の飼い葉桶に生まれたイエス様は、目の見えない人をいやしたり、死人を復活させたりしました。

神さまだから出来ないことはなかつたのです。何の罪もないのに、十字架にかけられて、殺されました。それは私たちの罪を、自分が死んで神さまに許してもらつたのです。

神さまは、イエス様の名前でお祈りしたり、お願ひしたりすればそれをかなえて下さるといいました。

神さま、どうかお母さんの病気を早く治して下さい。そして、一緒に暮らせるようにして下さい。

今年もいいクリスマスにして下さい。

五年生 多歌音

五年生 多歌音

五年生 多歌音

クリスマスは、イエス様がお生まれになつたことを思い、記念してお祝いすることです。

ベツレヘムの馬小屋の飼い葉桶に生まれたイエス様は、目の見えない人をいやしたり、死人を復活させたりしました。

神さまだから出来ないことはなかつたのです。何の罪もないのに、十字架にかけられて、殺されました。それは私たちの罪を、自分が死んで神さまに許してもらつたのです。

神さまは、イエス様の名前でお祈りしたり、お願ひしたりすればそれをかなえて下さるといいました。

神さま、どうかお母さんの病気を早く治して下さい。そして、一緒に暮らせるようにして下さい。

今年もいいクリスマスにして下さい。

神さまへ

六年生 溪子

六年生 溪子

六年生 溪子

クリスマスがやつてきます。サンタが誰なのか見てやろうと起きていようとみんなで約束しますが、みんな寝てしまします。いつも朝ねぼうの人も、次の朝は早く起きてプレゼントに大喜びです。

わたしはクリスマスが大好きです。何人かの友だちと一緒にお祝いが出来るからです。アドヴェントカレンダーを重季ちゃんやお兄さんと順番でめくります。

イヴにはサンタクロースがやつてきます。サンタが誰なのか見てやろうと起きていようとみんなで約束しますが、みんな寝てしまします。いつも朝ねぼうの人も、次の朝は早く起きてプレゼントに大喜びです。

それになんといつても、毎年のペーページェントです。わたしはこれまでずっと天使でした。本番になつてみんなの前で、はずかしくなつてしまします。今年も、ペーページェントをがんばって、楽しいクリスマスにしたいです。

イエス様、いつも守つてくれてありがとうございます。僕は朝なかなか起きられなくて、幸枝さんなどに迷惑をかけました。

来年は、きちんと起きられるようになりたいと思います。僕もがんばるのでイエス様応援して下さい。守つて下さい。

今年も十二月二十五日は、神さまによろこんでほしいと思い、たくさん神さまにおいのりしたいと思います。

今年も十二月二十五日は、神さまによろこんでほしいと思い、一生けんめいがんばります。



クリスマス

# クリスマスたのしいな

クリスマス　あめでとう

中学一年 濑

クリスマスは、イエス様がお生まれになつたことを思い、記念してお祝いすることです。

ベツレヘムの馬小屋の飼い葉桶に生まれたイエス様は、目の見えない人をいやしたり、死人を復活させたりしました。

神さまだから出来ないことはなかつたのです。何の罪もないのに、十字架にかけられて、殺されました。それは私たちの罪を、自分が死んで神さまに許してもらつたのです。

神さまは、イエス様の名前でお祈りしたり、お願ひしたりすればそれをかなえて下さるといいました。

神さま、どうかお母さんの病気を早く治して下さい。そして、一緒に暮らせるようにして下さい。

今年もいいクリスマスにして下さい。



今年一番うれしかったこと

六年生 溪子

六年生 溪子

六年生 溪子

わたしは、いつも一回でもいいからサンタクロースさんが見たいです。

わたしは、プレゼントには、たのしいえ本がいいなどおもつています。あと、パジャマがほしいです。

わたしは、12がつに生まれてよかつたな、とおもつてます。これからもズーといきたいな。

きょうは、だい1アドヴェントをやりました。とつてもたのしかつたです。また1をやりたいです。

いまわたしは、ゆきがふるのをまつています。

わたしはわるいことをしないようにしたいです。

わたしはトナカイをかけてみたいです。

わたしはおとなになつたら、おかねもちになりたいです。

わたしはおとなになつたら、おかねもちになりました。

今年は、うれしいこと悲しいこといろいろ体験しました。

その中のうれしいことは、ピアノが習えたことです。他にもいっぱいあるけれど、ピアノを習えたことは特別にうれしい

と思っています。三月までは古賀さんがお家に来ててくれてピアノを教えて下さいましたが、お仕事をするので来られなくなつたので、とても残念に思つていました。

剣道もがんばるから習わせてくれるようお願いしました。

祐子さんは、「じゃつ、がんばりなさい」って言ってくれました。そのことが何よりもうれしかったことです。

クリスマスには、祐子さんにそのお礼のピアノをひいてあげたいと思っています。

# クリスマスうれしいな

大好きなクリスマス

四年生 千沙

四年生 千沙

四年生 千沙

わたしはクリスマスが大好きです。何人かの友だちと一緒にお祝いが出来るからです。アドヴェントカレンダーを重季ちゃんやお兄さんと順番でめくります。

イヴにはサンタクロースがやつてきます。サンタが誰なのか見てやろうと起きていようとみんなで約束しますが、みんな寝てしまします。いつも朝ねぼうの人も、次の朝は早く起きてプレゼントに大喜びです。

それになんといつても、毎年のペーページェントです。わたしはこれまでずっと天使でした。本番になつてみんなの前で、はずかしくなつてしまします。今年も、ペーページェントをがんばって、楽しいクリスマスにしたいです。

イエス様、いつも守つてくれてありがとうございます。僕は朝なかなか起きられなくて、幸枝さんなどに迷惑をかけました。

来年は、きちんと起きられるようになりたいと思います。僕もがんばるのでイエス様応援して下さい。守つて下さい。

今年も十二月二十五日は、神さまによろこんでほしいと思い、一生けんめいがんばります。

今年も十二月二十五日は、神さまによろこんでほしいと思い、一生けんめいがんばります。

サンタクロースさんへ

ふつうのクリスマス

六年生 将司

将司

わたしは、いつも一回でもいいからサンタクロースさんが見たいです。

今年も、小学生最後のクリスマスです。

今年も、イヴを楽しみにしています。サンタクロースがプレゼントを持つててくれるからです。自分はいつも、起きています。

サンタがやつてくると布団にもぐつて寝たふりをして、行った後、待ち遠しくてプレゼントを開いてします。

去年は、ドアの取っ手に手をふると、音楽が流れる仕掛けをしておきました。でも、今年はそんなことはしません。イヴはきちんと眠り、トラップなどの仕掛けをしてサンタの正体をあばこうという、じや心は捨てて、プレゼントは夜中に開けたりしないで、朝まで楽しみにする、普通のクリスマスを迎えようと思っています。

だって、小学生の最後のクリスマスなんですから!。

## 虹の国から

### クリスマスに洗礼を志願して

高校二年 福島 文明

どこの国人でも、クリスマスを知らない人はそんなにいないだろうと思います。

しかし、「クリスマス」という言葉を知っていること、クリスマスの意味を理解することは違うということが、この頃はつきりしてきたように思います。

自分は、小学五年生の時に、この家にやつてきました。それまでには、「クリスマス」というのは西洋やアメリカなどのお祭りの一種だらうと思つていました。それ以上にクリスマスについて考えたり理解しようと思つたことはなかつたのです。

しかし、ここで暮らしながら教会に通い、聖書の話を聞いたりしているうちに、自分の愚かさのために、不完全な自分を救うために、馬小屋という自分の心のようなところに、神の子が人間として生まれたのだということが、解るような気がしてきました。

そして、自分が誰の子どもであったとしても、天の神さまを、「お父さん」と呼べたらどんなにいいだろうと考えるようになります。

「お父さんは今年のクリスマスに洗礼を志願しました。

もし自分に洗礼が許されたら、一人の人を「お父さん」と呼ぶ、哲也君や照子さんや穴水さん、杉本先生や菅原先生たちと「兄弟」になることなんだと思います。八木橋君とは双子の兄弟です。

自分を生んでくれた父も母も今一緒に暮らしていません。でも、こんなにたくさんの兄弟や姉妹に囲まれて、励まされて生きていくことが出来るようになるので、独りぼっちではなくなります。

本当に、命を与えて下さるのは人間ではなく、人間よりも力のあるものだということが、信じられるように思えるのです。

クリスマス、おめでとうございます。

## 子どもたちの季節

仙道家

私が短大を卒業してすぐ勤めた神奈川にある養護施設で、二年目に担当した当時小学一年生だった慎一が、殺虫剤を飲んで自殺をはかり重体だと知らせが入ったのは今年六月の暑い日でした。

退職してから彼との関わりはほとんどなく、中学卒業後神奈川の牧場に就職したと人づてに聞いたきりで、その後は音信不通でした。彼が自殺を図ったのは埼玉県本庄市内でした。彼は何度か仕事を転々とし不安定な生活を送っていて、父は所在不明、母は新しい家庭を築き彼が訪ねることを快く思つていなかったようです。そんな彼の心の拠り所は、叔母さんとその施設の元保母であり、現在もその施設の側に住み、卒園生たちとの関わりを続けていて下さる一人の女性でした。私が彼を見舞つたとき彼に母のように付き添つていたのもその方でした。その方が病院に駆けつけたとき、彼はまだ意識があり、その方の手を握り、「寂しいよ、神奈川に帰りたいよ、すぐ連れて行って！」と、言つて頼んだそうです。

きっと彼は施設を離れてから、いや生まれてからずつとずっと寂しかつたのでしょう。寂しいままだった彼は、二十三才の生涯を閉じ、本庄の教会に集まつた元職員たちなどによつて葬られました。

彼が寂しかつた時、私は一体何をしていたのでしょうか。いえ、私は彼が寂しいという事を知ることができなかつたのです。

たつた一年間ではありましたが、彼に関わつた一人の人間として申し訳なく、恥ずかしい気持ちでいっぱいです。

二十三年間の生涯に「生まれてきてよかった！」と実感できる瞬間がどのくらいあつたのだろう、と思うと胸が締め付けられます。

今、私が関わつてゐる子どもたちがここを巣立ち自立し「寂しい」時、私のことを思い出し、訪ねてきてくれるように。「今」ここで生活が、子どもたちの将来につながるように・・そんな実家のような関係をつくっていきたいと心から願っています。倉沢 智子

## 原田家日記

竹花 信恵

十月十七日 髪をばっさりとショートに。一段と可愛くなつたと思っているうちに光りはじめた爪と、細くなつた眉毛。大人たちの助言を軽くかわしつつ、斜め下の視線。思春期、誰でも通る道でありながら、カッコつけたい年頃を、どれだけかしこく乗り越えられるか。

高校二年生の兄子。「ありのまま」がもつとも輝くものを。

十月二十三日 小学校休校。ゆつくりした朝食時間のみんなで決めたのにだれも起きてこない。大声で起こすのもいいが、今日は家には大人は私一人。気楽な朝を決めこむ。起きた順に、自分でつくつて自分で片づけるセルフサービス。みそ汁とご飯だけ用意して卵料理はお好みで。東姉妹は姉が二人分作り、妹は配膳。姉が皿を洗つて妹がすすぐ。いつものケンカをするひまもなく、なごやかな朝食のひととき。

十月二十九日 今日もピアノに向かう多音。風に運ばれてくるメロディーと、頭にしみついてるメロディーとの違いに心が反応してしまい、つい「訂正」しにいく。厳しい教師役の位置にまた座ってしまう。それに負けないでいつまでも音楽の大好きな多音でいて欲しい。

十一月十日 あとは、ここから巣立つ日をよりよく迎える準備の日々。もう、すべてが、失敗さえも思い出として、笑い話として語りたいと思っていた悟。ふとしたことから新事実発覚。自ら、自慢気に失敗を「告白」した様子。

何かが逆転している。それを聞いて、待つこともできず、朝食の準備さえ後回しにし、寝ていた悟と向き合う。無言で登校。

帰宅後「何か手伝うことない？」と真剣な表情で言つてきた。たくさん手伝つてくれる。ふと、言葉だけのやりとり、言葉の溢れる問題解決を今回はパスしようと思った。

「わかっている」と顔や行動で語つた悟とつきあい直しである。

## 光の中で

佐藤家

暑い暑い夏休みが終わり、それでもまだ残る暑さと秋の気配の入り混じる頃、小学校で運動会がありました。

小学三年の環は、運動が苦手です。百M走もビリでしたがにこにこ走っていました。

夏休みに入る前担任の先生から一学期はほとんど授業に参加しないで教室外をフラフラしている、というお話を伺いショックでした。

通知票は光の子どもの家が始まって以来のひどいものでした。

沢山抱っこして欲しかつたり、承認して欲しかつたり、顔を向けて欲しかつたり、評価して欲しいことなどをマイナス行動で表現していたようです。そんなことを知らなかつた私は、根本的な解決などを主体にした受容を心がけて過ごしました。

そして迎える二学期こそはせめて教室に入れるようにと願い担任の先生と話し合いを持ちました。環の二学期を、何よりも教室で机に向かつて過ごすよう、家でも励まして送り出し、先生も机に向かつたならばそれを手がかりに課題や授業に、環の求めてやまない承認や評価などを織り込みながら導入するよう極力、そのように関わることで一致させました。またお互いに連絡を取り合い、協力しあうことも確認しました。

運動会でダンスを踊る環は、にこにことうれしそうです。時々、後ろの担任の先生を振り返つては、もつとにこにこ。

「先生、見て！、ねえ、上手でしょ！」と、呼びかけるようです。たつた三・四週間で環にこれだけの変化です。あと半年でやつてくる高学年の時を、みんなと一緒に、そして、いなかつたらそのクラスが成り立たないような文字通りクラスの一員になつて迎えることが出来るように、先生にもお願いし、焦らず忍耐強く関わらなければ、踊るにこにこ顔の環に思はせられました。 池田 祐子

に比べて社会と密接な関係にあります。したがって、高学歴社会の問題や受験戦争と無縁ではありません。光の子どもの家では、担当者を中心とした生活づくりと、近接する年齢の子どもたちがグループを形成し、相互の関係をつくつてゆく横割り活動を車の両輪のようにして、お互いを刺激し合って、支え合うように展開されています。

それでもこれ迄、全員が公立高校に合格し、曲がりなりにも高校生活についていっています。光の子どもの家で初めて高校を卒業し、社会に出ていく二人の男の子がいます。

彼らは、光の子どもの家の長男として、ある時は誇らしい、またある時は迷惑な期待と役割を担ってきています。特に彼らは、家にやつてきた私には、彼らによりも数年後から光の子どもの家にやつてきた私には、彼らに

「特に就職試験はどんな問題が出るのか解らないのだから、ちゃんと、勉強しないと、受からないと、と思うよ」と、学習にはいろいろに促したつもりでした。

「まるで俺が試験に落ちるようなことを言うなよ!」と、悟った。「努力もしないで受かるわけがないだろ!」と、お互いに感情をむき出しうになつてしましました。

それから私たちは普通の話が出来なくなるほど関係が音をた

れしさのあまり気が動転し、「よかつたな!」とも、「おめでとう!」とも言うことが出来ず、オロオロするばかりでした。その夜の誕生会は就職決定通知のお祝いを加えて盛り上がり始めたのは言うまでもありません。それから、学習会もみんなに心持ち真剣な様子も見え出し、彼との関係も深まってきたのはまさに彼らの努力の結果と言ふより他はありません。

幸せであるように 三

見聞

りわけ家族が彩りを放つ季節である。若い人たちにはスキーへ、温泉へ、そして海外へ、年々繰り出でる人々が増えているにも関わらず、年越しごらいは家族そろって・・と、故郷へ向かう人たちで、交通機関は一ヵ月前から並んで確保しないと利用できず、列島を縦断する高速道路は數十キロもの渋滞の列をつくつて家へ向かう。こうして、この国の人々は、夏のお墓参りを加えて、年二回家に帰るのである。

昔はあつたその地方に、あるいはその家に独特な年末年始の風習や習慣は廃れてしまい、年越し蕎麦とはやり歌一色にはなる。しかし、脈々とつながる父祖からの血筋を思い、その家に所属することで、その家族を構成する一員であることを再認識し、アイデンティティをそれぞれが再構成し確保する。

こうして自分が何者であるの

がその人のある意味での自己覚知を可能にする。それが、意識するとしてないにかかわらずその人格の基底を形づくり、その家族に特有な情感や感性、霊気、価値観などを受け継いでいるのである。

その人に特有な情感や感性、霊気や価値観などを含めて情緒と言えるものである。

言い換えると、自分がどんな遺伝子を受けて生まれ、どんな地域と暮らし合い、どんな影響を受け、どうそこの社会につきあい、そしてどちら来てどこへ行こうとしているのか、などが複雑に交差する場所が家であり、家族関係などの位置や役割などを形成していくのだろう。

生まれた者としての特有の情緒をはぐくんでいる家族の風景が色濃くなるこの季節は、養護施設で暮らさなければならぬ子どもたちにとって、つらい時期でもあり、もしかして・・と、家族の来訪や帰省への期待と不安に揺れ動くときもある。光の子どもの家に在籍する全ての子どもたちの家庭訪問を年末始の前に実施してきているのは、そのような重要な内容を持つ家族と出会い、子どもたちが光の子どもの家へやってくるようになつた状況の現場に立ち会い、その家や家族が育ててきた情緒を具体的に体験し識るためなのである。

彼らがここでその人生の重要な時期を過ごしたとしても、家族の持つている決定的な彼らへの影響は決して減じられるものではない。いや、離れて暮らしていることでの家族の影響力は級数倍することが一般である。

しかし、家に帰ったとしても、そこがいつも喜ばしい場所であるわけではない。子どもたちが幼い間は識り得なかつた、その家や家族がかかるえる忌まわしさや禍々しさをしみじみと味わうことになる。

一方、家に帰ることの出来なかつた誰彼が、いつも独占したい担当保母を独占し、愛されながら過ごしているだろうイメージは、嫉妬の虜にしてやまない。それでも家に帰ることが出来ることは帰ることのできない者たちに比して、誇らしいことであることに変わりはないのだ。

そんなアンビバレンツな心理状態を引き受け、乗り越えていくことが、彼らの成長の訓練となり、情緒の深いそだちの力となるのである。

だから、この頃は帰省した者たちが光の子どもの家へ帰つてから関わり方が重要な正念場になつてきている。

家族 その六 『情緒』 5

菅原哲男

養護メモ

ある。家族と情緒は抜き差しならない因果関係をもつてゐるのであり、その人の生きる様式や

いつものことだが、十二月の末、家族に迎えられ、あるいは担当保母に送られて帰省してゆ

日  
誌  
抄

七月一日～  
八月末日まで

恒例のワークキャンプ。  
二五日 十文字短期大学の学生  
の見学と特別講義。

- 七月四日 家庭訪問開始。夏休みにひとりでも多くの子どもたちが家族と過ごす帰省が出来るようとに願つて。
- 五日 県立衛生短期大学より研修と見学に。
- 六日 慈恵医大付属柏看護学校より十五名が見学。
- 吉田孝子氏より「子ども世界」を今月も。感謝。
- 七・八日 鎮守の天王様のお祭。御輿を引いてわっしょい！。
- 十三日 後援会、赤十字奉仕団合同の草取りご奉仕。感謝。
- 十六日 元タカラクラブの会員で今も覚えて下さる松永美千代氏より大坂千沙にバースデイカードにプレゼントも。
- 二十日 小学校教師との懇談会。夏休みの課題を確認。
- 夏休みオープニングフェスティバル。園庭でバーベキューと明日からの四十日の楽しみと課題へ向かう決意表明を。
- 栗橋町割烹萬屋さんよりおいしい鰻を。今年も。感謝。
- 三二日 女子聖短期大学宗教部
- 二六・九日 夏休み行事第一弾。一・二・三・六年生が八ヶ岳へ。大天狗、赤岳登頂と池端寛先生の陶芸教室と谷本清光画伯の絵画鑑賞の旅。
- 二七日 町内旗井の山野井陸夫氏より衣類のご寄贈。
- 二九日 竹花暁理事。心臓発作で緊急入院手術。
- 三一 日～八月二日 東大宮教会夏期学校。赤城高原へ。
- 五日 関東学院大学朝倉先生來訪して夕礼拝のご奉仕。
- 六・九日 夏休み行事第二弾。
- 四・五年生が八ヶ岳天狗岳登頂と池端、谷本両先生たちとの芸術を味わう旅へ。
- 十一日 この日からお盆帰省始まる。
- 十二・十九日 帰省の出来ない中学年の鷹文、嬉、亜季羅が、弘前学院の土岐司先生のご厚意で、普通列車による青森秋田へ冒険と生活の知恵を求めての旅に。自転車で岩木山を駆け、テントも経験する。途中宮野恵子氏のお招きで鷹巣

町に遊び、羽後町の盆踊りを楽しんで、たくさんの思い出をお土産に無事帰る。感謝。

反射光  
☆先日の強い木枯らしで園庭の中央の櫻は未練

○他の帰省できない子どもたちは湯河原の府川勝臣氏宅と宇佐美的増田政一氏宅へ。海を楽しむ二泊三日の旅を。感謝。

十七日 栗橋町八百鬼さんよりぶどうバナナを沢山。感謝。

二五日 学習ヴァランティアの中島貴央氏より梨を沢山。

二九日 江森ヘヤーサロンより調髪のご奉仕。毎月。感謝。

○さよなら夏休み大バーティ。

子どもたちの成長の著しさと、それに追いつかない私たちの取り組みを、イヤと言うほど思い知らされた夏休みは多く人々のご支援お励ましを得て終わることが出来ました。感謝。（くら）

一九九五年度も公の基準外の職員を確保して、よりよい養育のためにバザーを行います。それに向けて、不要品などのご協力をよろしくお願ひします。

送り先は光の子どもの家気付。バザー実行委員会

そうにはんの少しの葉をつけて空を突いています☆子どもたちはプラスにばかり成長するものではないことを思い知らされながら、次々に仕出かすことでも同じような年頃の子どもたちが中学高校に固まっています☆誰かがブレ、それに決着を付けやレヤレという間もなく他の誰かが何かを仕出かす。それも段々エスカレートしながら☆開設当初の地元の反対運動との妥協の産物の一つの入所年齢の制限が恨めしく思えてくることも☆もうこれ以上は許容範囲を超えた、と小さな何とか袋の緒を切りそろになることもしばしばです☆そんな時、同じ年頃からの自らを振り返り、これ迄なんと沢山許されてきたことかを思い見て、もう一度やり直してみようと決意させられます☆背き、反逆する者を、救し、救うために自らの全てを投げかけてやまない、今も生きて働くイエスの馬小屋へのご降誕を祝いつつ。（哲）